

京陽 P T A だより

— 第 5 号 —

令和 2 年 1 2 月 1 5 日 発行

発行責任者 外川 公太

担当者 書 記

— * — 第 4 回 実行委員会報告 (1 2 月 1 0 日 1 8 時より開催) — * —

会長より

本日もお忙しい中、時間を割いてお集まりくださいまして、誠にありがとうございます。また、日頃からの P T A 活動へのご理解とご協力につきましても、重ねて御礼申し上げます。

みなさんご承知のとおり、今年度は行事もほとんどできず、先生方も子どもたちも、そして保護者のみなさんも、思い出づくりに苦勞する一年になっていることと思います。私自身も、P T A 会長という重責を担って初めての年ですが、例年をあまり参考にできない一年となり、この状況下で子どもたちのために何ができるんだろうと、ずっと考えてきました。

今年度は区内の小学校の P T A 会長同士の会合も中止されたりオンライン開催になったり、なかなか他校のお話を聴ける機会も無く、手探りの運営が続いています。そんな中、11 月 15 日に、品川区小学校 P T A 連合会主催の音楽発表会のお手伝いに行って、数人ではありますが、初めて他校の P T A 会長たちと交流することができました。私以外はみなさん昨年度も会長をされていた方々だったので、経験のともなった貴重なお話を伺うことができ、少し視界が明るくなった気持ちになりました。また、11 月 28 日には、荏原西ブロックの会長会があり、音楽発表会ではお会いできなかった近隣校の方々とも交流することができ、大変刺激を受けるとともに、会長同士の横のつながりのありがたみを実感しました。

そういった出会いの中で、他校が今年どのように過ごしてきたのか聴けたお話を参考にしながら、今年一年みんなが我慢を重ねてきたそのストレスを、花火を打ち上げる形で、思い出に昇華させることはできないかと思いつきました。例年であればサマーフェスティバルでやっていた花火を、今年は年度末に行い、普段は花火を観られない季節だからこそ、この異例続きだった一年を締めくくるイベントとして思い出に残すことができるのではないかと、そう思うのです。

屋外で、同じ方向を見るのであれば、感染リスクは抑えられるのではないかと。高学年の希望者は、安全に配慮しながら、校庭ではなく屋上で観られることにしても良いのではないかと。保護者は教室から観る形にすれば、うまく分散しながら一緒に楽しめるのではないかと。まだ細かいところを詰め切れてはいませんが、実現できるように色々考えているところです。サマーフェスティバルで花火を上げるのにもご尽力いただいていた『けいようサポーターズ』の方々にもご協力を打診したところ、快いお返事をいただいています。こんな時期だからこそ、少しでも子どもたちのために何かしてあげたい、そう思っている方々は少なくないのだと感じます。

遅くとも年明けには、保護者のみなさんに向けてアンケートを配信し、みなさんの声に耳を傾けながら、より良い形になるように企画していきたいと思っております。そして、お手伝いなどご協力をお願いすることも出てくるかもしれませんが、無理のない範囲でご協力をいただけますとありがたいです。どうぞよろしく願いいたします。

校長先生より

皆様、こんばんは。

先日オリパラ学習の一環として、全盲のフルート奏者をお招きしてご講演と演奏会を行っていただきました。演奏会は学年ごと 6 回に分けて実施していただくというぜいたくで豊かな時間！子どもたちがシーンと聴き入る会場（体育館）の空気が、フルートの音色で震えるのが伝わって来、“リアル”の素晴らしさを改めて感じるひとときとなりました。

コロナ・コロナで右往左往する今年でしたが、「学校がすべきこと・学校だからこそできること」は何か、とことん考えることができたよい年であったとも言えると思っています。そしてたどり着いたのが、“リアル”であることこそ、学校がすべきことの最も大きなことの 1 つであるということです。

話は飛ぶようですが、つい数日前、近所で平塚児童センターの館長さんと、本当に久しぶりにお会いしました。これまでであれば、学校や地域の行事の度に年に何度もお会いしてきたのですが、今年は機会が全くなかったのです。ですので、お話したいことが次々と湧き出てきて、子どもたちの様子についてかなりの長時間 (!) 立ち話に興じてしまいました。

わざわざ電話をするほどのことではない。でも、ときどき会って話をするだけで、知らず知らずのうちに大切な情報交換ができていたのだ！・・・と、館長さんとお話を終えて思うことしばし。

必要があって「目的的」に行うオンライン会議に自身を適応させつつ、一方で“リアル”な会話も心していきたいものですし、学校は、そのような場を提供できる場所でもありたいと考えています。

各委員会活動報告

★ 学年委員会

- ◆ 第6学年
 - 10月30日 卒業記念DVD作成、祝う会のお便り配布
 - 11月 6日 記念品の決定、DVD撮影について打合せ
 - 13日 6年担任との打合せ
 - 18日 DVD用児童メッセージ協力のお便りを配布
 - 19日 記念品について打合せ
 - 23日 予算案・DVDコンテンツリスト作成
 - 26日 記念品・DVDデザイン決め
 - 12月 4日 撮影前日準備
 - 5日 一言動画・校舎撮影など
 - 8・10日 合奏・インタビューの撮影
- ◆ 第5学年 特になし
- ◆ 第4学年 特になし
- ◆ 第3学年 特になし
- ◆ 第2学年 特になし
- ◆ 第1学年
 - 11月24日 すまいるへリユースについての要望を最終確認
 - 12月 8日 寄付のお願いを作成・メール配信

★ 文化厚生委員会

- 10月26日 CAP講師決定
- 29日 開催場所と託児室確保・保育士手配
- 11月17日 案内状印刷
- 12月 2日 案内の配布

★ 広報委員会

- 11月27日 けいよう2学期号入稿
- 12月 8日 けいよう2学期号配布・送付作業
- 11日 けいよう3学期号アンケート配布

★ 地域委員会

- ◆ 平塚一丁目町会 特になし
- ◆ 平塚一丁目南部町会 12月 2日 町会青年部と打合せ
- ◆ 中原共和町会 11月10日 町会定例会出席
- ◆ 平塚二丁目町会 特になし
- ◆ 平塚三丁目町会 特になし

その他

1. 子ども110ばんの家について
2. 支出明細書について

副校長先生より

現状を前向きにとらえると、「変革の年」と考えることができます。動物の進化は、通常であれば非常にゆっくりですが、急激な環境変化が起きると適応しようと突然変異種が現れます。現在の社会の状況も、適応するために大きな進歩が起きることでしょう。

振り返れば、今までもバブル経済の崩壊や東日本大震災などの劇的な社会の変化があり、我々はその都度危機を乗り越えて成長してきました。今回もきっと新たな発展があるはずです。

私は歴史が大好きです。大河ドラマなどでは「戦国時代」と「幕末・明治維新」が人気の時代です。どちらの時代も大きな混乱があつて、人々の生活は脅かされていたことでしょう。そこに偉大な人物が登場して、社会が大きく変革したことが視聴者の関心を惹くポイントなのでしょう。このコロナ禍の時代にも、そのようなヒーロー・ヒロインが現れるかもしれません。それが子どもたちの中から現れたら・・・と考えると、嬉しい気持ちになりませんか。

「第3回 役員・会計監査候補選考委員会」

役員・会計監査候補12名が内定しました。

☆☆☆ 今後の予定 ☆☆☆

2月18日(木) 第5回実行委員会 18時30分

第4回選考委員会

※ 名札の着用 ※ マイスリッパ持参 ※ 自転車での来校禁止